



第78号

2017. 12. 29

(公社)津法人会 青年部会

津市広明町121番地

津税理士会館4階

TEL(059)225-1302

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/seinenbu/>

提 言

商人から学ぶ

事業を営むことにおいて、昨今の複雑な経済状況の中で何に重きを置くかしばしば迷うことがあります。利益を出すことはもちろんですが、人口減少もあり売上額が常に右肩上がりでなければならない時代ではなくなってきています。

日本三大商人の1つと呼ばれる近江商人の教えに「三方よし」があります。三方よしとは「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三つのよしのことを言います。売り手買い手がともに満足し、また社会貢献もできていることが信頼をされて良い商売であるという教えです。ビジネスにおいては顧客と「Win-Win」の関係であることが良いとされていますが、そこに社会貢献をプラスすることがひいては自社の利益につながるのではないかと思います。長い不況と呼ばれている今の時代ですが、心から「買い手」のこと「社会」のことを考えて実行する会社が増えていけばこの不況を乗り越えていけるでしょう。

ご当地である三重県には伊勢商人が活躍しており、イオングループ・三井・三越・松坂屋など名だたる企業が伊勢商人の流れを汲むとされています。「掛け値なしの現金売り」「良い商品をお安く」「品揃えは多く」「少しのはぎれも販売」など、江戸時代では画期的な商法で大繁盛した伊勢商人。創意工夫・儉約がキーワードになります。

21世紀に入ってすでに20年近くが経ち、生活環境がどんどん変化していきませんが、決して変わらないものが先人達の教えにあるのではないのでしょうか。



全 国 青 年 の 集 い

第31回 法人会 全国青年の集い
高知大会

高知大会に参加

第31回 全国青年の集い 部会長サミットについて

11月10日（金）ザ・クラウンパレス新阪急高知ホテルで部会長サミットが行なわれました。今年度は「租税教育活動の質的向上を目指して」というテーマの下、現状の課題や対策について話し合いました。

それぞれの単会で会員数や小学校数、租税教室のやり方は違いますが、子供達への想いは同じで、どうすれば分かりやすく伝えることが出来るのかと議論が交わされました。今後の租税教育活動を展開していく上で、参考になる意見が多く、参加させて頂いた事をありがとうございました。

大会に参加して

11月9日より高知県で開催されました全国青年の集い高知大会に参加しました。

往きは列車を利用したため5時間以上をかけて高知に到着しました。長時間の移動でしたが、その時間で同行した方々と仕事の話など色々な話ができ、大変貴重な時間となりました。到着後は高知県民文化ホールで行われた「租税教育プレゼン大会」を見学しました。昨年の旭川大会での発表時のことを懐かしく思い出しながら見学しましたが、発表者の技術の高さに驚愕するとともに、自分の実力の低さを思い知り、何度か気絶しそうになりました。また、内容についても素晴らしい発表が目立ちました。地域性の違いや会員数の差も有るのですが、学校の授業を通しての租税教育だけでなく、子供たちとのイベントで難しい税のことを浸透しやすく伝える手法などは、私たち

単会でも利用できそうなことで新たな発見でした。翌日は朝から部会長が部会長サミットに参加されている間、他のメンバーで「ひろめ市場」を満喫した後、午後からの記念講演に参加しました。今年は地元出身の間寛平氏の講演でした。スタートから笑いの絶えない内容で、まるで「よしもと新喜劇」を見ているようでした。食えなかった時代のことからアースマラソンのお話と続きましたが、まさかまさかの時間切れ。どうにかして続きが聞きたいと心底思える講演でした。夜は津からの後続部隊と合流し、懇親会を開催しました。地元の新鮮な魚と美味しいお酒を堪能しながら、遅くまで懇親を深めました。翌日は朝一番、空路で名古屋に戻りました。往きの移動時間と違い、あっという間の到着でした。（笑）

全国青年の集いに参加するといつも感じるのは、

メンバーと色々な時間を共有する事で、いつも以上に学ぶ機会が多くあり、いつも以上に刺激を受けることが出来るという事です。出発まで仕事のスケジュール調整をすることには苦勞しましたが、

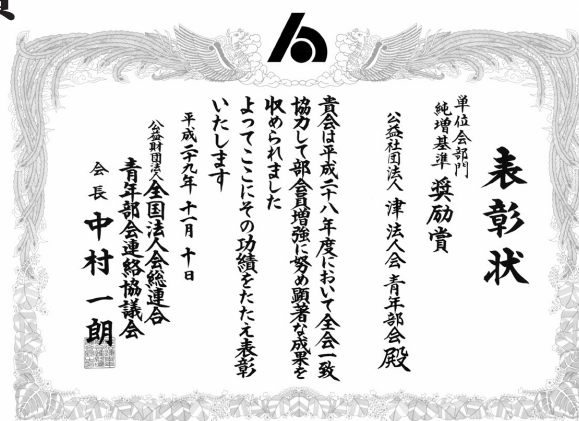
今回も大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。参加いただいたメンバーの皆様と、あらゆる準備や設営にご協力いただきましたメンバーの皆様に感謝いたします。今回残念ながら参加できなかったメンバーの皆様も来年は是非「岐阜大会」にご参加ください。



平成28年度 青年部会員増強運動 純増基準 奨励賞

単位会部門純増基準奨励賞を受賞

大会式典において、平成28年度青年部会員増強運動の表彰がおこなわれ、単位会部門純増基準奨励賞を受賞しました。昨年の優秀賞に続き2年連続の受賞となりました、会員の皆様ありがとうございます。3年連続の受賞を目指し、今後も会員増強運動にご協力をお願いいたします。



第32回 法人会 全国青年の集い

岐阜大会

2018年 11/8(木) ▶ 9(金)



9月例会

『税のよもやま話』

日時：平成29年9月21日(木) 18:30~20:00 場所：東洋軒

講師 津税務署 署長 飯田 敏博 氏

本年度9月例会では、例年通り津税務署署長の飯田敏博様を講師にお迎えし、「税のよもやま話」という題目でご講演頂きました。

その講演の中でまず始めに、過去からの税制度の変化やそれに伴う事件を、ご自身のこれまでの経歴やエピソードを交えながら、ご説明頂き、当時の情景を想像しながら、楽しくお伺いさせて頂きました。

そして、後半部分では、国税庁の税務行政における現状やe-Tax（インターネット）を利用の推

進、昨今世間で注目を集めたパナマ文書に関連した国際課税の取り組みについて等幅広くご説明頂きました。特に、e-Taxについては、手続きの簡便さから今後の業務において、重要なツールであると認識できました。

講演後は、署長とご臨席頂きました副署長の小池一彰様、法人課税第一部門 統括国税調査官 山澤満久様を囲みながら、会員の相互交流を楽しく行うことが出来ました。

12月例会

『忘年会』

日時：平成29年12月16日(土) 18:30~ 場所：翔南閣

12月例会「忘年会」が12月16日（土）高田会館にて開催されました。

当日は週末の忙しい中にもかかわらず、38名の方にお集まりいただきました。

はじめに、亀井部会長の挨拶があり、新体制になってからの活動内容や、現在行われている租税教室についての詳しい報告、まだ参加したことがない会員への積極的な参加を呼びかけました。

そして、新入会員の皆さんの紹介等が終わってからは、美味しいお料理を食べながら、飲みなが

ら会員同士が交流を深め、有意義な時間を過ごしました。

恒例のゲーム大会では、豪華賞品を目指して亀井部会長を相手にじゃんけん大会が行われ参加者全員が大興奮、この日1番の盛り上がりを見せました。

今年もとても良い忘年会にすることが出来ました。参加して頂いた会員の皆様ありがとうございました。

租税教室への参加も宜しくお願い致します♪

会 員 拡 大

新しく、(公社)津法人会青年部会に入会される方をご紹介します!!

青年の持つフレッシュな感覚と行動をもってお互いに啓発と親睦を図り「経営基盤の確立」と「後継者づくり」が大きな目的です。

50才までの方であれば会社の役員、従業員、男女等問いません。

●会費…年額6,000円 詳しくはお近くの青年部会役員か事務局へお問い合わせ下さい。

事務局／津市広明町121 津税理士会館4階 TEL059-225-1302 FAX059-227-6085

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/> E-mail:hojinkai@mint.or.jp

租税教育活動報告

租税教室 in 「ジュニアエコノミーカレッジ in 津」 ～津商工会議所青年部とのコラボ企画～

平成29年10月1日に、租税教育活動の一環として、今年も津商工会議所青年部主催の「ジュニアエコノミーカレッジ in 津」にて租税教室を開催しました。

子どもたちが販売実践によって得た利益の中から税金を払う（津市に寄付）プログラムがあることから、亀井部会長が講師を務め、子どもたちに「税」の仕組みをより、理解していただくことができました。



ジュニアエコノミーカレッジとは、津市内小学5・6年生を対象とし、模擬株式会社を設立し、ドリームプラン（事業計画書）を作成したうえで出資金を集め、チームで商品の開発・製作・仕入れをします。帳簿のつけ方やビジネスマナーを学び、その後販売の実践・決算報告・税金の納付（津市に寄付）をして、商売の仕組みを学ぶ起業体験プログラムです。

平成29年度 租税教室 開催日程

・ 津市立養正小学校	11月30日(木)
・ 津市立明合小学校	12月7日(木)
・ 津市立倭小学校	12月11日(月)
・ 三重大学教育学部附属小学校	12月12日(火)
・ 津市立八ツ山小学校	12月14日(木)
・ 津市立一身田小学校	12月18日(月)
・ 津市立櫛形小学校	12月20日(水)
・ 津市立明小学校	1月18日(木)
・ 津市立新町小学校	1月18日(木)
・ 津市立成美小学校	1月26日(金)

次回、1月18日(木)〈9:40～〉
明小学校

1月18日(木)〈13:45～〉
新町小学校で開催します。

子ども達に税の大切さを
学んでいただきます。
講師・シロモチくん役(?)として
是非ご参加ください。

県連・青年部会連絡協議会 情報交換会

日時：平成29年11月17日(金) 15:00～ 場所：四日市都ホテル

平成29年11月17日(金)に四日市都ホテルにて「県連・青年部会連絡協議会 第29回情報交換会」が開催されました。

まず、(一社)三重県法人会連合会の宮崎会長、青年部会連絡協議会の加藤会長の挨拶のあと、来賓として名古屋国税局課税第二部次長の岩田和之様よりご挨拶を頂戴しました。

情報交換会では、開催地青年部会である(公社)四日市法人会青年部会の活動内容を紹介していただきました。ユニークな租税教室をはじめ、工場研修など積極的に活動されていて、今後の活動にとっても参考になりました。つづいてテーブルディスカッションが行われ、社員育成や法人会活動をテーマに熱のこもった意見が交わされ、45分間の予定時間が足りなくなる程盛り上がりました。

その後、四日市税務署 小林署長により講評をいただき情報交換会を閉会いたしました。

続いてもうひとつの楽しみである懇談会が行わ

れ、まず地元子どもたちのかわいらしくも本格的な諏訪太鼓の演舞、そして青年部会連絡協議会 竹内会長の乾杯のご発声で始まりました。

四日市都ホテルの豪華な料理と四日市のご当地グルメ「とんてき」や「大矢知そうめん」、「かぶせ茶アイス」なども用意していただき、たくさんの方々と交流を深めることができました。また、途中単位会対抗3本勝負としてクイズもおこなわれ、亀井部会長、一志筆頭副部会長、前川監事の健闘もありましたが、津法人会青年部会は残念ながら入賞することができませんでした。

最後は青年部会連絡協議会 伊藤委員の閉宴の辞で幕が閉じられました。

今回、この事業に参加させていただき貴重な経験と深い交流を得ることができました。設営に御尽力いただいた方々をはじめ、この事業に関わられた皆様に心より感謝申し上げます。

親睦ボウリング大会

日時：平成29年8月3日(木) 18:00～ 場所：津グランドボウル



今年も、本会・青年部会共催の会員親睦ボウリング大会を開催しました。

管内副会長、青山厚生委員長、亀井青年部会長の始球式を皮切りにゲームがスタート。参加者全員が優勝を目指して熱い戦いが繰り広げられました。

表彰式では、成績上位者のみならず、とび賞など多くの方に豪華賞品が贈呈されました。

日頃のストレス、運動不足解消、企業間や社内交流、家族のコミュニケーションを図れた大会となりました。

また、今年も多くのお客様よりご協賛をいただき、より大会を盛り上げることができました。ありがとうございます。



青年部会 親睦ゴルフコンペ

日時：平成29年12月16日(土)

場所：鈴鹿カンツリークラブ（西コース）

今年もあと僅か。山には少し雪がかかっている中12月16日に鈴鹿カンツリークラブ（西コース）で法人会青年部会ゴルフコンペが開催されました。前々日の天気予報では降水確率70%の雨予報でしたが、何かの予兆みたいになって変わり雲は多めですが、風も少ない良い天気になりました。参加者は11名と寂しく感じましたが和気藹々としたプレーを楽しみました。その中でも副部会長の意向でプレーを楽しめるようチーム戦を行いINコース17番（ショート）OUTコース7番（ショート）の合計スコア（スコア上位3名）で優勝チームには賞品があり、同じチームの仲間に迷惑をかけないよう他のホールとは違う顔をして皆さん頑張っていました。又、この日はホールインワン達成者もでて賑わいました。（苦笑）

ゴルフはスポーツでスコアを競い合い勝敗にこだわってプレーすること以上に、同伴プレーヤーの性格や考え方そして優しさを感じることが出来ます。良いプレーでは『ナイスショット』と声を掛け、行方知れずのボールを斜面や草むらで一緒にさがしたり心が温かくなります。スコアは個人ですがある意味団体競技ではないかと考えます。

コンペ終了後には表彰式が行われ上位者に限らず参加者全員に豪華賞品が贈呈され、楽しく盛り上がりました。次回はもっと盛り上げられるよう皆様多数の参加をよろしくお願い致します。

親睦ゴルフコンペにおいて準備して下さった吉村副部長、森田さんをはじめ参加して頂いたメンバーの皆様本当にありがとうございました。

平成29年度 新人会員

（順不同・敬称略）

1 (有) 青山商店荷役	青 山 好 一
2 (株) 赤塚総合経営研究所	赤 塚 法 生
3 (株) 池田工務店	池 田 弘 治
4 (株) エイティー	阿 知 波 聖
5 おぼろタオル(株)	森 田 壮
6 (株) カズデン	西 岡 秀 和
7 (宗) 観音寺	岩 鶴 密 伝
8 (株) 紀州産業	宇戸平 敏 寿
9 (株) 小林住宅	小 林 久 祥
10 大同生命保険(株) 三重支社	佐々木 和 久
11 特定非営利活動法人 どんぐりの会	木 崎 芙 美
12 (株) 長谷川建築積算	長谷川 明 宏
13 (株) 保険リード	田 邊 裕 也
14 (株) ホンダオート三重	林 口 浩 久
15 (株) 雅建	金 子 雅 昭
16 (有) 三重伸明	沼 田 周 丈
17 三重シンリョー設備(株)	別 所 孝 晃
18 ユーティーエム(株)	植 草 透
19 (株) ライフプラン	坂 野 誠
20 (有) 和合運輸	上 村 潤 次



第28回

空手道は大学生のときに習った。堺市の鳳神社の近くに、フルコンタクトの道場があり、4年間ほど通った。フルコンタクトとは実際に相手に打撃を当てる。相手のどこかを壊す気持ち、倒す気持ちで攻撃していた。

フルコンタクトの流派も色々ある。僕の習っていた流派は、首から上への手技攻撃は反則だったので、鼻血などの流血は少なかったが、首から下への攻撃は金的以外認められていたもので、怪我は多かった。そういえば、金的への打撃は反則だったが、基本稽古には金的蹴りと目潰しがあった。当たり前のように練習していたが、今思えば物騒な練習をしていたと思う。

試合は、グローブが無く素手素足だった。頭部を守るヘッドギアも無かった。グローブは相手も守るためだけでなく、自分の拳を守るためでもある。骨同士のぶつかり合いは、指などの細い骨の方が負けるので、拳が潰れないようコンクリートを叩いたりして鍛えていた。みんな頑丈な拳になっていた。その拳で殴りあうので、年に数人あばらや鎖骨を折られる人がいた。僕自身も鎖骨にひびが入ったことがあった。

時期もあったのだろうが、習い始めて数ヶ月で体つきが変わったと実感した。打たれ強くなった。

納得するまで練習を続けると自信も出来る。体と同時に心も強くなったと思った。

「心技体」という言葉がある、武道場などに掲げられていることも多い。日常にも当てはまると思うが、一番大事なのは心、心が出来てなくては何事にも望めないと言われてきた。

自分では、心も大事だが順番をつけるのなら、一番は体だと思っている。心を作り、整えているのは体だと思う。体調が悪いときは、やる気も起これない。体を整える、作る過程で心は出来ていくと思う。と言っても中々そんな気にならないことの方が多い。そんな時は無理矢理体を動かしてみる。歩く習慣をつける。試合に申し込んだり、マラソン大会に登録したりして必要に迫られる状況を作ってみるのも良いと思う。

余談だが、津法人会青年部会陸上部キャプテン？ M氏の号令のもと、2月25日に開催される「津シティマラソン」に参加を申し込んでいる。ここに向けて体を整え、心を作っていきたい。

